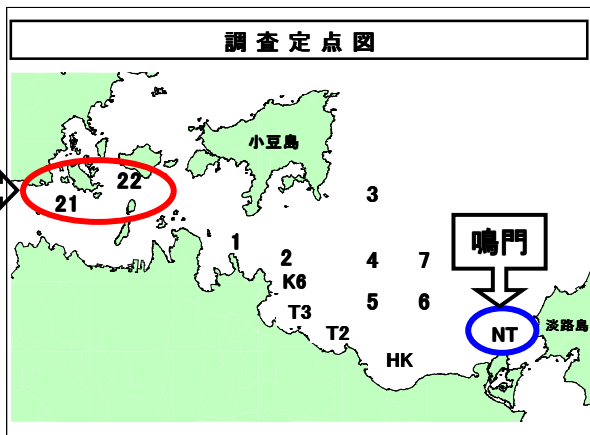


カタクチイワシ卵稚仔出現状況

(2010. 6- 1)

香川県水産試験場 宮川

TEL: 087-843-6511



調査方法

調査日: 6月2日

調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳

調査定点: 播磨灘11定点+備讃瀬戸2点+鳴門1点

(調査定点図参照)

【カタクチ卵】 定点別出現数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	14点平均値
2007.6.4	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	-	-	-	0.3	
2008.6.3	0	0	0	14	9	3	0	39	2	3	0	-	-	-	6.4	6.4
2009.6.2	0	0	2	6	0	4	6	1	0	0	0	0	0	-	1.7	1.5
2010.6.2	4	72	20	4	60	0	2	0	0	17	21	0	0	1	18.2	14.4

【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

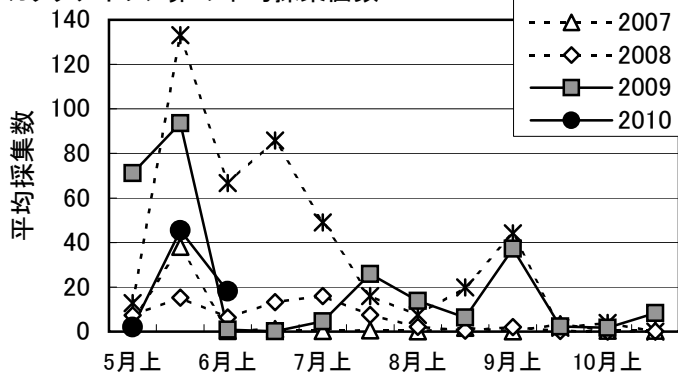
年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	14点平均値
2007.6.4	0	1	0	1	4	0	0	9	0	0	1	-	-	-	1.5	
2008.6.3	2	6	0	8	8	0	0	2	13	1	1	-	-	-	3.7	3.7
2009.6.2	0	39	19	9	26	23	29	5	3	1	23	0	0	-	16.1	13.6
2010.6.2	1	5	1	1	7	0	4	0	2	2	5	0	0	1	2.5	2.1

* 表中の「-」は未測定を表す。

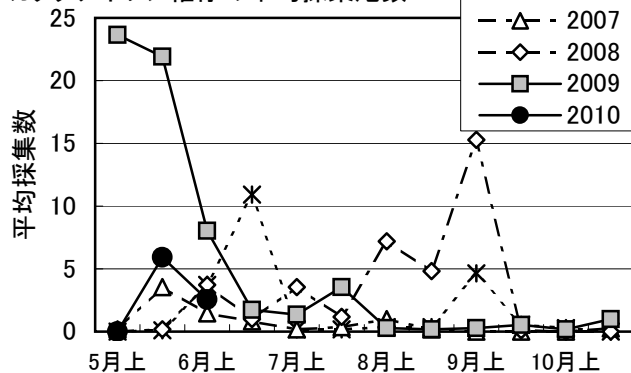
* 11点平均値: 播磨灘11定点の平均値を表す(備讃瀬戸および鳴門を除く)。

* 14点平均値: 播磨灘11点+備讃瀬戸2点+鳴門1点の平均値を表す。

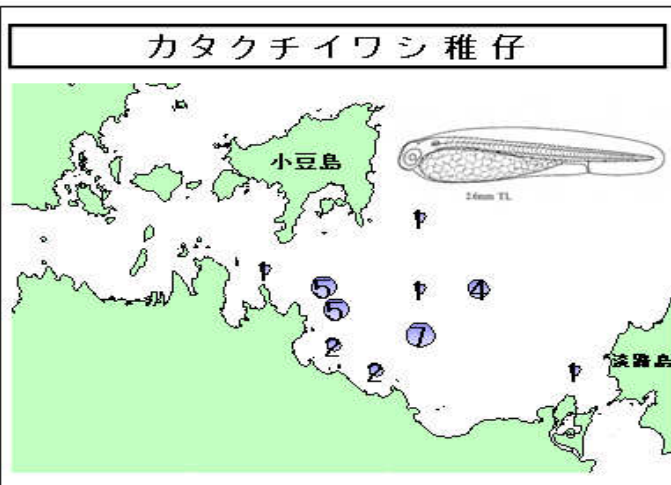
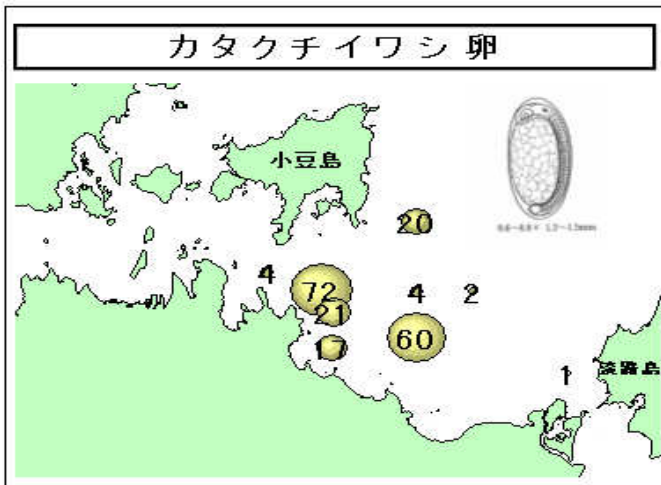
カタクチイワシ卵の平均採集個数



カタクチイワシ稚仔の平均採集尾数



* グラフの値は播磨灘11定点における平均値を表す。



播磨灘11定点における卵の平均出現数は約 18個となり、昨年同時期を上回った。卵はやや沖合での出現数が多かった。

一方、稚仔の出現は約 3尾となり、昨年同時期を下回った。稚仔の出現はやや沖合で多い傾向を示した。

引田沖に設置した水温ブイ(午前9時)データによると、5月中旬以降の水温は平年に比べ著しく低めから、かなり低めで推移している。

餌料生物として重要なかいあし類は、沖合でやや多い傾向であり、14点の平均は前回の8割程度に減少した。

